

「観る・測る・解く」 4次元細胞計測の現状と未来

日時: 2017年6月28日 9:30-18:00

会場: 理化学研究所和光キャンパス(和光市広沢2-1)

生物科学研究棟 鈴木梅太郎記念ホール

主催: 理化学研究所戦略的研究展開事業

「多階層をつなぐ4D細胞計測の次世代化による細胞動態の理解と操作」

幹細胞からの機能的な立体組織形成	CDB	永樂元次
4D細胞計測の究極を目指して: 小さく速く、そして深く	RAP	中野明彦
バイオイメージングの次元に関する考察	BSI/RAP	宮脇敦史
4D細胞計測のその先にあるもの: 知識抽出、データ共有、そして	QBic	大浪修一
未知の細胞機能を照らし出す全次元解析の未来	CLST	清末優子
情報処理による4D細胞現象の”見る”から”観る”そして”わかる”へ	RAP	横田秀夫
4D細胞計測の次世代化を目指して: 見て、測って、操作する	QBic	岡田康志
散乱光から生物学的情報を取り出す	QBic	渡邊朋信
形態形成のロジックを読み解く	CDB	林 茂生
腸管上皮M細胞の細胞生物学	IMS	大野博司
細胞内情報伝達のイメージング	ILs	佐甲靖志

ポスターセッションも行います。

終了後、意見交換会(広沢クラブ) 参加費 5,000円(学生 2,500円)

詳しいプログラムは http://fourd.riken.jp/news/170628_symposium/ をご覧ください。

問合せ先: 理化学研究所 光量子工学研究領域

生細胞超解像イメージング研究チーム 中野明彦

TEL: 048-462-4679 E-mail: 4Dsymposium2017@ml.riken.jp